

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

《セグメント別業績》

(単位：百万円)

	売 上 高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))			
	当第1四半期	前第1四半期	増減額	前年同期比(%)	当第1四半期	前第1四半期	増減額	前年同期比(%)
ビジネスウェア事業	43,285	43,626	△341	99.2	3,678	3,288	390	111.9
カジュアル事業	4,440	4,586	△145	96.8	69	△24	94	—
カード事業	1,238	1,119	118	110.6	527	409	117	128.7
印刷・メディア事業	2,774	2,744	29	101.1	92	22	69	406.6
雑貨販売事業	4,088	4,043	44	101.1	259	266	△7	97.0
総合リペアサービス事業	3,088	2,936	152	105.2	△53	65	△118	—
その他	2,261	1,490	770	151.7	△7	△43	35	—
調整額	△853	△941	88	—	9	4	5	211.6
合計	60,322	59,605	717	101.2	4,575	3,988	586	114.7

(注) 1. セグメント別売上高、セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

2. 当第1四半期連結会計期間より「青山洋服商業(上海)有限公司」及び服良(株)の子会社である「上海服良工貿有限公司」を、ビジネスウェア事業に含めております。

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめとする新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性などから、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、ビジネスウェア事業の収益力、競争力の強化を目指した諸施策を実施するとともに、グループ経営の基盤整備と収益力強化を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループにおける業績は以下のとおりとなりました。

売上高 603億22百万円(前年同期比101.2%)

営業利益 45億75百万円(前年同期比114.7%)

経常利益 48億73百万円(前年同期比126.6%)

親会社株主に帰属する四半期純利益 29億11百万円(前年同期比121.9%)

セグメント別の営業の状況は、以下のとおりであります。

なお、以下の事業別売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の内部取引相殺前の数値であります。

《ビジネスウェア事業》

〔青山商事(株)ビジネスウェア事業、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)、青山洋服商業(上海)有限公司〕

当事業の売上高は432億85百万円(前年同期比99.2%)、セグメント利益(営業利益)は36億78百万円(前年同期比111.9%)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事(株)のビジネスウェア事業につきましては、「洋服の青山」を2店舗、「ザ・スーツカンパニー」を1店舗、レディース専門店「ホワイト ザ・スーツカンパニー」を2店舗出店するなど着実な出店を実施するとともに、営業面では「洋服の青山」において、引き続き「EXILE TRIBE(エグザイルトライブ)」をイメージキャラクターに起用し、テレビCM等によりスーツ等の機能性を訴求することで、新たな顧客の取り込みを図りました。商品面では「接触冷感」「高通気性」といった夏場の快適機能を備えたドレスシャツや、梅雨時期に対応した防水ビジネスシューズなど高機能商品の品揃えを強化いたしました。

レディースにつきましては、サマーフォーマルの種類を過去最大の13種類、着数についても前年比1.5倍の品揃えで販売を強化した結果、好調に推移いたしました。

なお、4月から6月までの3ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比95.5%の471千着、平均販売単価は前年同期比98.8%の27,790円となりました。

こうしたことなどから、ビジネスウェア事業の既存店売上高は前年同期比96.9%となりました。

当第1四半期(4月～6月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜ビジネスウェア事業における業態別の出退店及び期末店舗数(平成29年6月末現在)＞ (単位:店)

業態名	洋服の青山	ネクストブルー	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ブルー エグリージオ	ユニバーサルランゲージメジャーズ	ホワイトザ・スーツカンパニー	合計
出店(4月～6月)	2	0	1	0	0	0	2	5
閉店(4月～6月)	1	0	0	0	0	0	0	1
期末店舗数(6月末)	806	8	50	14	1	4	10	893

(注)「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサルランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。

《カジュアル事業》〔青山商事(株)カジュアル事業、(株)イーグルリテイリング〕

当事業につきましては、カジュアル市場の低迷等により、売上高は44億40百万円(前年同期比96.8%)となる一方、粗利率や経費の改善などから、セグメント利益(営業利益)は69百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)24百万円)となりました。

当第1四半期(4月～6月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜カジュアル事業における業態別の出退店及び期末店舗数(平成29年6月末現在)＞ (単位:店)

業態名	青山商事(株)カジュアル事業		(株)イーグルリテイリング
	キャラジャ	リーバイスストア	アメリカンイーグルアウトフィッターズ
出店(4月～6月)	0	0	0
閉店(4月～6月)	0	0	0
期末店舗数(6月末)	9	9	34

(注)「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」にはアウトレット店を含めております。

《カード事業》〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、ショッピング収入の増加などから、売上高は12億38百万円(前年同期比110.6%)、セグメント利益(営業利益)は5億27百万円(前年同期比128.7%)となりました。

なお、平成29年5月末現在の「AOYAMAカード」の有効会員数は411万人となりました。

《印刷・メディア事業》〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、売上高は27億74百万円(前年同期比101.1%)、セグメント利益(営業利益)は、印刷用紙など原材料価格が低下したことなどにより、92百万円(前年同期比406.6%)となりました。

《雑貨販売事業》〔(株)青五〕

当事業につきましては、高額商品（150円～500円）の取扱い増加などにより、売上高は40億88百万円（前年同期比101.1%）となる一方、6月の出店に係る経費等の増加などから、セグメント利益（営業利益）は2億59百万円（前年同期比97.0%）となりました。なお、平成29年5月末の店舗数は117店舗であります。

《総合リペアサービス事業》〔ミニット・アジア・パシフィック(株)〕

当事業につきましては、出店等により売上高は30億88百万円（前年同期比105.2%）となる一方、事業拡大（サービス多角化、出店加速）を図るための先行投資の増加などから、セグメント損失（営業損失）は53百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）65百万円）となりました。

当第1四半期（4月～6月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜総合リペアサービス事業における出退店及び期末店舗数（平成29年6月末現在）＞ （単位：店）

地域	ミスターミニット			合計
	日本	オセアニア	その他	
出店（4月～6月）	8	4	0	12
閉店（4月～6月）	1	1	0	2
期末店舗数（6月末）	306	270	32	608

《その他》〔青山商事(株)リユース事業、(株)glob、(株)WTW〕

その他の事業につきましては、「セカンドストリート」、「焼肉きんぐ」、「ゆず庵」、「ダブルティー」をそれぞれ1店舗出店したことなどから、売上高は22億61百万円（前年同期比151.7%）となる一方、(株)WTWにおけるのれん償却や、出店経費等の増加などから、セグメント損失（営業損失）は7百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）43百万円）となりました。

当第1四半期（4月～6月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜その他の事業における業態別の出退店及び期末店舗数（平成29年6月末現在）＞ （単位：店）

業態名	青山商事(株)リユース事業		(株)glob		(株)WTW	
	セカンドストリート	ジャンブルストア	焼肉きんぐ	ゆず庵	ダブルティー	ダブルティーサーフクラブ
出店（4月～6月）	1	0	1	1	1	0
閉店（4月～6月）	0	0	0	0	0	0
期末店舗数（6月末）	11	2	25	10	5	1

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産について、流動資産は1,958億25百万円となり、前連結会計年度末と比べ79億76百万円減少いたしました。この要因は、営業貸付金が10億49百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が50億77百万円、有価証券が48億99百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、1,866億92百万円となり前連結会計年度末と比べ7億64百万円減少いたしました。この要因は、のれんが1億29百万円、有形固定資産が5億99百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,826億21百万円となり、前連結会計年度末と比べ87億48百万円減少いたしました。

負債について、流動負債は501億66百万円となり、前連結会計年度末と比べ85億76百万円減少いたしました。この要因は、支払手形及び買掛金が41億18百万円、未払法人税等が21億97百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は1,027億99百万円となり、前連結会計年度末と比べ38億39百万円増加いたしました。この要因は、長期借入金が40億円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,529億66百万円となり、前連結会計年度末と比べ47億36百万円減少しました。

純資産合計は2,296億55百万円となり、前連結会計年度末と比べ40億11百万円減少いたしました。この要因は、その他有価証券評価差額金が5億79百万円、為替換算調整勘定が2億85百万円それぞれ増加しましたが、利益剰余金が30億63百万円減少し、自己株式による減少額が19億64百万円増加したことによるものであります。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。